

11月

県議会ニュース

日本共産党県議団 です

山口典久議員の11月議会の補正予算案(追加分)に対する質疑と答弁の要旨を紹介します。全文はホームページの[議会の様子](#)から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



＊＊住民税非課税世帯エアコン設置促進事業について＊＊

山口 補正予算案には私たちも要望してきた県民の願いが盛り込まれ歓迎する。エアコン設置補助は貴重な前進だが、対象は市町村が実施する支援事業で、支援を実施しない市町村の住民にも県としての支援ができないか。

健康福祉部長 直接支援は考えていないが、市町村への説明・意見交換会をし、多くの市町村に実施していただくよう働きかけていく。

＊＊医療・介護分野等の賃上げ・物価上昇対応支援事業について＊＊

山口 賃上げ額はいくらか。財源は交付金ではなく国の事業とのことだが、県としてさらなる上乗せなど処遇改善につながる取組の検討を求める。

健康福祉部長 有床診療所が1床あたり7万2千円、1施設あたり15万円など。介護従事者は1人あたり月1万円の6ヶ月分で上乗せ分もある。賃上げ支援のほか、業務の効率化や職場環境改善を支援する事業が盛り込まれている。

＊＊介護施設等サービス継続支援事業について＊＊

山口 設備備品の購入補助は介護だけでなく障害福祉サービス事業所等からも求める声がある。

健康福祉部長 事業の趣旨や内容を確認しながら、障害福祉サービス等の支援についても検討していく。

＊＊保育士の賃上げについて＊＊

山口 全産業平均と比べて約6万円低い。処遇改善策も十分な効果がなく、賃金引上げの対策が必要では。

こども若者局長 引き続き国に強く要望する等、処遇改善に取り組んでいく。

＊＊食料品の価格高騰対策について＊＊

山口 「信州こどもカフェ」と同様に、絆再生事業実施団体にも支援を検討してほしい。

健康福祉部長 実態や課題等を聞き、他の団体とのバランスも見て検討していく。

山口 コメの高騰は県としてどのような対策を考えているのか。

農政部長 シンプルで効率的なサプライチェーン等を図り、来年4月の食料システム法により、県が主体的に生産コスト指標を作成するなど適正な価格形成と価格の安定に取り組む。

